

陶磁器に出会うⅤ

開窯300年 マイセン 西洋磁器の誕生

平成23年4月23日(土)～7月3日(日)



色絵金彩人物文鉢

マイセンとはヨーロッパで磁器を初めて作った窯です。

純白の硬質な磁器を作る技術がなかった17世紀のヨーロッパでは、中国の磁器や日本の伊万里は人々の憧れでした。しかし、1710年、ドイツのマイセン王立磁器製作所において、ヨーロッパ初となる東洋の磁器とほぼ同質の「硬質磁器」を生み出すことに成功しました。

開窯300年を記念した本展では、このマイセン窯の歴史のなかでも最も栄光ある時代とされる、最初の半世紀の作品を紹介いたします。

華やかなだけでは終わらない、マイセン磁器の真髄を表した作品の数々とともに、それらを創り出した18世紀のヨーロッパ文化の特色を感じていただければ幸いです。

1章 初期作品：J.G.ヘロルトの世界

2章 東洋へのあこがれ

3章 フィギュア(磁器人形)は踊る

4章 サーヴィスの世界

主催 細見美術館 毎日新聞社

休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は5時30分まで)

入館料 一般1,000円(800円) 学生800円(600円)

※()内は20名以上の団体料金

会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

TEL075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

助成 芸術文化振興基金

お問合せ先: 広報担当 三宅 由紀

Tel / 075-752-5555 Fax / 075-752-5955

E-mail / kouhou@emuseum.or.jp